

■コミュニティの形成：新たな魅力の創出

ライフスタイルが多様化する中、居住者を増やし多世代が集う地域形成を行っていくためには、団地としての特色を捉え、団地に住む価値観を共有できる人々にアピールできる団地づくりを進めていくことが大切です。この視点でみると、既成市街地内の多くのマンションで「隣の顔がみえない」のに比べ、団地では「盆踊り、秋祭り、餅つき大会」等の活動を通してコミュニティが継続していることが大きな特色であり「地域コミュニティ」が共通の価値観をつくる一つのキーワードとして考えられます。

また、団地としてのアイデンティティーを形成し、魅力をもった「住み続けたい場所」、「住んでみたい場所」としていくためには、これまでの「お祭り」型の活動に加えて、菜園や工房等、共通の趣味等にもとづいたコミュニティが形成される場所としていくことも大切です。



『樹木観察会とジュンベリー狩り』多摩 N.T.
・団地内で樹木観察とベリー狩りに合わせてとジャムづくりのイベント



『団地内公園でのお花見大会』多摩 N.T.



『新狭山ハイツブランディングプロジェクト』
新狭山はハイツでは、作業小屋を工房（D I Yの拠点）に改修する・近くで野菜を収穫し、みんなで料理をつくる催し等、団地のアイデンティティー形成を進めています。

